

横暖ルーフ

工法

重ね葺き

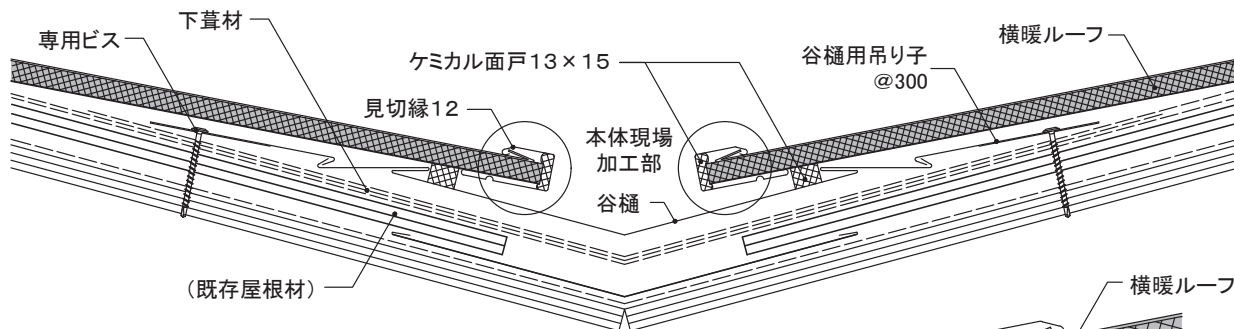
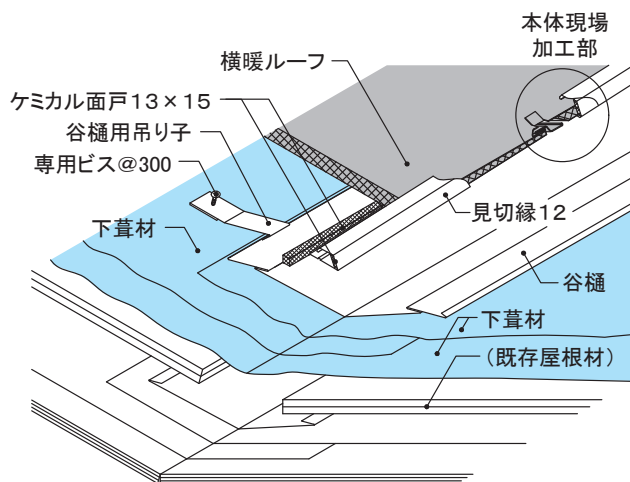
既存屋根材

セメント系新生瓦
アスファルトシングル

7) 谷部

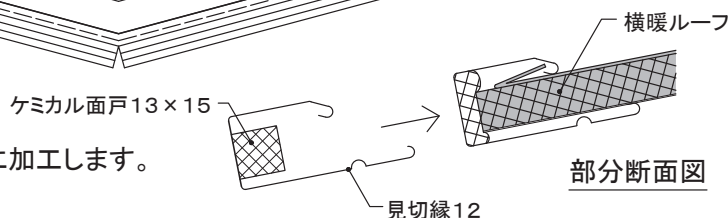
②谷樋＋見切縁12

- 既存屋根材に、下葺材を張ります。
 - 谷樋は谷部に谷樋用吊り子を使用し留め付けます。谷樋用吊り子は300mm以下の間隔で配置し、専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)で留め付けます。本体留め付けの専用ビスは、谷樋を避けて施工します。
 - 谷樋部分は図のように加工した横暖ルーフ本体を施工します。見切縁12にケミカル面戸13×15を貼り付け、本体の折り返し部分と見切縁12のはげとが引っかかるまで押し付けます。
 - 挿着後、見切縁12を引っ張り、外れないことを確認してください。
- ※積雪のある地域では使用できません。

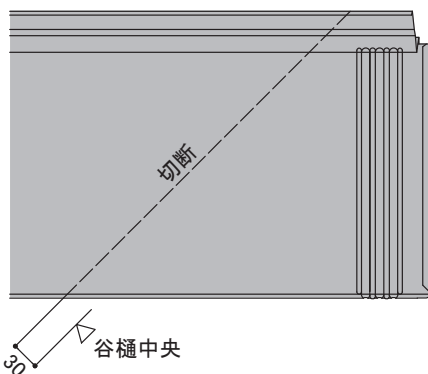


■施工ポイント・現場加工図

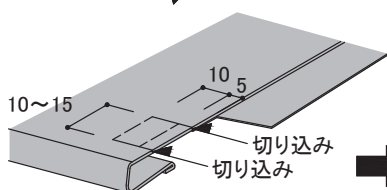
- 横暖ルーフ本体の谷樋部分は、図のように加工します。



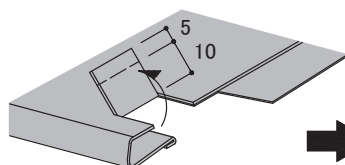
部分断面図



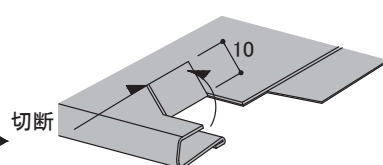
- ①横暖ルーフ本体を谷樋中央部から30mmの位置で切断します。



- ②図の位置2ヶ所に切り込みを入れます。



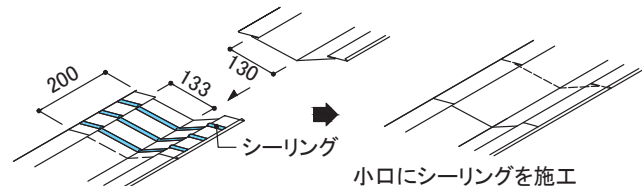
- ③切り込みを入れた部分を起こします。



- ④端部から5mmの位置を切断します。

■谷樋 接合部

- 重ね代にシーリングで3本のビードを作り、上部谷樋を差し込みます。
- 接合後、小口にシーリングを施工します。



※谷樋は図中寸法のように流れの上下で小口の大きさが異なります。水上側に目印がありますので、接合時に注意して施工してください。